



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月31日
東

上場会社名 明和産業株式会社 上場取引所
 コード番号 8103 URL <https://www.meiwa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 毅
 問合せ先責任者 (役職名) 主計財務部長 (氏名) 小林 敏弘 (TEL) 03-3240-9534
 四半期報告書提出予定日 2023年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2023年3月期第3四半期	119,194	11.8	3,012	17.3	3,077	18.5	1,862	△2.9
2022年3月期第3四半期	106,610	15.2	2,568	51.7	2,596	68.2	1,918	64.1

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,382百万円(△6.4%) 2022年3月期第3四半期 2,545百万円(△0.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	44.59	—
2022年3月期第3四半期	45.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2023年3月期第3四半期	85,293	35,491	41.0
2022年3月期	76,415	35,967	46.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 35,001百万円 2022年3月期 35,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	47.00	—	72.00	119.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	160,000	11.9	3,400	△0.1	3,000	△12.0	2,100	△12.8	50.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	41,780,000株	2022年3月期	41,780,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	16,892株	2022年3月期	16,869株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	41,763,121株	2022年3月期3Q	41,763,190株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としているものであり、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、景気は欧州においては後退傾向、米国及び中国においては減速傾向となり、我が国においても減速傾向となりました。多くの国において新型コロナウイルスによる行動制限が緩和される一方で、長期化するウクライナ情勢の影響、資源価格高騰による影響等、先行き不透明な状態が続いております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,191億9千4百万円と前年同期の11.8%にあたる125億8千3百万円の増収、営業利益は30億1千2百万円と前年同期の17.3%にあたる4億4千4百万円の増益、経常利益は30億7千7百万円と前年同期の18.5%にあたる4億8千万円の増益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益については18億6千2百万円と前年同期の2.9%にあたる5千5百万円の減益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は44.59円となりました。

なお、主な要因は以下のとおりであります。

- ・売上高については、第一事業、第二事業、第三事業が好調に推移したため増収となりました。
- ・営業利益については、売上高の増加による売上総利益が増加したことにより、販売費及び一般管理費の増加があったものの増益となりました。
- ・経常利益については、営業利益の増加、投資先からの受取配当金の増加等により、持分法による投資損失が増加したものの増益となりました。
- ・法人税等については、過年度減損処理した政策保有株式売却により無税化処理を行った前年度の反動等があったため増加しました。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益については、上記要因の結果、減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループの第一事業及び第三事業の組織再編を行いました。第一事業は樹脂・難燃剤事業部の樹脂事業を第三事業に移管して難燃剤事業部に改称し、機能建材事業部を第三事業から編入致しました。第三事業は高機能素材事業部を三分割し、それぞれ高機能素材事業部、機能化学品事業部、第一事業から編入した樹脂事業と統合して合成樹脂事業部と致しました。

また、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

なお、セグメントごとの主な事業、事業内容及び主な取扱商品は次のとおりであります。

セグメントの名称	主な事業	事業内容及び主な取扱商品
第一事業	資源・環境ビジネス事業 難燃剤事業 機能建材事業	レアアース・レアメタル、環境関連、金属関連 難燃剤 断熱材、防水材、内装材
第二事業	石油製品事業	潤滑油、ベースオイル、添加剤 海外事業
第三事業	高機能素材事業 機能化学品事業 合成樹脂事業 無機薬品事業	フィルム製品、印刷原材料 製紙薬剤、粘接着剤 合成樹脂原料、合成樹脂製品 無機薬品
自動車・電池材料事業	自動車事業 電池材料事業	自動車部品関連 電池材料

① 第一事業

売上高は、306億8千2百万円と前年同期の14.8%にあたる39億5千2百万円の増収、セグメント利益は、12億7百万円と前年同期の80.1%にあたる5億3千6百万円の増益になりました。

これは主に各取引が以下の通り推移した結果によるものです。

- ・資源・環境ビジネス事業は、資源関連、環境関連、金属関連ともに好調に推移しました。
- ・難燃剤事業は、需要が伸長し、好調に推移しました。
- ・機能建材事業は、断熱材や防水材は需要が持ち直し、好調に推移したものの、内装材は前年同期並に推移しました。

② 第二事業

売上高は、390億5千万円と前年同期の8.4%にあたる30億2千2百万円の増収、セグメント利益は、14億3千8百万円と前年同期の3.3%にあたる4千5百万円の増益になりました。

これは主に各取引が以下の通り推移した結果によるものです。

- ・国内向けベースオイル・添加剤及び中国向けベースオイル・添加剤は需要が伸長し、好調に推移しました。
- ・中国潤滑油事業は、冷凍機油は前年同期並に推移したものの、建機純正オイルは低調に推移しました。

③ 第三事業

売上高は、435億5百万円と前年同期の13.0%にあたる50億1百万円の増収、セグメント利益は、8億6千8百万円と前年同期の4.5%にあたる3千7百万円の増益になりました。

これは主に各取引が以下の通り推移した結果によるものです。

- ・高性能素材事業は、印刷原材料は前年同期並に推移したものの、フィルム製品は低調に推移しました。
- ・機能化学品事業は、製紙薬剤、粘接着剤ともに前年同期並に推移しました。
- ・合成樹脂事業は、合成樹脂原料、合成樹脂製品ともに前年同期並に推移しました。
- ・無機薬品事業は、好調に推移しました。

④ 自動車・電池材料事業

売上高は、46億3千5百万円と前年同期の12.4%にあたる5億1千3百万円の増収、セグメント損失は、7億6百万円と前年同期から3億2千万円の減益（前年同期は3億8千5百万円の損失）になりました。

これは主に以下の通り推移した結果によるものです。

- ・自動車事業は、持分法適用会社において損失が増加したことにより、減益となりました。
- ・電池材料事業は、自動車用などの電池材料販売の売上が堅調に推移しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、852億9千3百万円と前連結会計年度末の11.6%にあたる88億7千8百万円の増加となりました。負債は、498億2百万円と前連結会計年度末の23.1%にあたる93億5千4百万円の増加となり、また、純資産は354億9千1百万円と前連結会計年度末の1.3%にあたる4億7千6百万円の減少となりました。

この結果、自己資本比率は41.0%となりました。

なお、主な要因は以下のとおりであります。

- ・総資産については、主に現金及び預金と売上債権の増加により、流動資産が前連結会計年度末の14.6%にあたる86億3千5百万円の増加となったことによるものであります。
- ・負債については、主に仕入債務と短期借入金の増加により、流動負債が前連結会計年度末の26.4%にあたる94億6千3百万円の増加となったことによるものであります。
- ・純資産については、主に剰余金の配当を行ったことにより、利益剰余金が前連結会計年度末の4.8%にあたる11億4千4百万円の減少となったことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,255	8,676
受取手形、売掛金及び契約資産	44,995	50,443
商品	7,814	8,020
その他	1,388	987
貸倒引当金	△229	△268
流動資産合計	59,225	67,860
固定資産		
有形固定資産	1,168	1,124
無形固定資産	208	154
投資その他の資産		
投資有価証券	14,800	15,021
その他	1,036	1,155
貸倒引当金	△23	△22
投資その他の資産合計	15,813	16,154
固定資産合計	17,190	17,433
資産合計	76,415	85,293
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,197	34,494
短期借入金	5,787	8,394
1年内返済予定の長期借入金	—	550
未払法人税等	485	592
賞与引当金	681	441
その他	698	840
流動負債合計	35,850	45,313
固定負債		
長期借入金	590	135
役員退職慰労引当金	—	307
退職給付に係る負債	901	874
その他	3,106	3,171
固定負債合計	4,597	4,489
負債合計	40,448	49,802

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,024	4,024
資本剰余金	2,761	2,761
利益剰余金	23,655	22,511
自己株式	△4	△4
株主資本合計	30,437	29,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,642	3,701
繰延ヘッジ損益	17	△13
為替換算調整勘定	1,770	2,168
退職給付に係る調整累計額	△186	△147
その他の包括利益累計額合計	5,242	5,708
非支配株主持分	287	490
純資産合計	35,967	35,491
負債純資産合計	76,415	85,293

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	106,610	119,194
売上原価	98,499	110,228
売上総利益	8,111	8,965
販売費及び一般管理費	5,543	5,953
営業利益	2,568	3,012
営業外収益		
受取配当金	280	490
その他	122	215
営業外収益合計	402	705
営業外費用		
支払利息	46	102
持分法による投資損失	283	421
その他	44	117
営業外費用合計	373	640
経常利益	2,596	3,077
特別利益		
負ののれん発生益	—	25
その他	211	5
特別利益合計	211	30
特別損失		
投資有価証券売却損	—	0
その他	4	—
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益	2,803	3,107
法人税、住民税及び事業税	662	1,153
法人税等調整額	202	34
法人税等合計	865	1,188
四半期純利益	1,938	1,919
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	57
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,918	1,862

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,938	1,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	120
繰延ヘッジ損益	10	△31
為替換算調整勘定	479	△32
退職給付に係る調整額	60	47
持分法適用会社に対する持分相当額	81	358
その他の包括利益合計	606	463
四半期包括利益	2,545	2,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,523	2,327
非支配株主に係る四半期包括利益	21	55

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	第一事業	第二事業	第三事業	自動車・ 電池材料事業	計		
売上高							
日本	23,939	2,851	35,498	1,642	63,931	1,227	65,159
中国	962	31,487	1,801	2,301	36,553	—	36,553
その他	1,827	1,688	1,203	178	4,897	—	4,897
顧客との契約から生じる収益	26,729	36,028	38,503	4,122	105,383	1,227	106,610
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	26,729	36,028	38,503	4,122	105,383	1,227	106,610
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40	65	52	—	159	1	160
計	26,769	36,093	38,555	4,122	105,542	1,229	106,771
セグメント利益 又は損失(△)	670	1,393	831	△385	2,508	14	2,523

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	2,508
「その他」の区分の利益又は損失(△)	14
セグメント間取引消去	△53
全社費用(注)	126
四半期連結損益計算書の経常利益	2,596

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	第一事業	第二事業	第三事業	自動車・ 電池材料事業	計		
売上高							
日本	27,710	4,330	40,692	1,691	74,424	1,320	75,745
中国	858	33,020	1,308	2,628	37,816	—	37,816
その他	2,112	1,699	1,504	315	5,632	—	5,632
顧客との契約から生じる収益	30,682	39,050	43,505	4,635	117,873	1,320	119,194
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	30,682	39,050	43,505	4,635	117,873	1,320	119,194
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34	103	10	—	148	2	150
計	30,716	39,154	43,515	4,635	118,021	1,323	119,345
セグメント利益 又は損失(△)	1,207	1,438	868	△706	2,808	8	2,816

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	2,808
「その他」の区分の利益又は損失(△)	8
セグメント間取引消去	△55
全社費用(注)	316
四半期連結損益計算書の経常利益	3,077

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループの第一事業及び第三事業の組織再編を行いました。第一事業は樹脂・難燃剤事業部の樹脂事業を第三事業に移管して難燃剤事業部に改称し、機能建材事業部を第三事業から編入致しました。第三事業は高機能素材事業部を三分割し、それぞれ高機能素材事業部、機能化学品事業部、第一事業から編入した樹脂事業と統合して合成樹脂事業部と致しました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

詳細につきましては、「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご参照ください。